

芽出し苗管理の手引き

あいら農業協同組合

育苗センターより芽出し苗をお引き取りになりましたら、以下の管理をお願いします。

(1) 苗広げ

①白い芽（鞘葉）が0.5～1.0cm程度になれば苗を広げます。

②苗広げの場所は、屋外で平置きにして広げます。

POINT！ 広げる前に地面をなるべく平らにして下さい。

POINT！ ビニールシートを敷いてから広げて下さい。

(雑草の混入等を防ぐため)

③広げ終わったら灌水をして下さい。

POINT！ 持ち上がった覆土を落とし、乾燥を防ぎます。

POINT！ 種籾が露出している場合は覆土をし、種籾の露出を防いで下さい。



写真. 苗広げ状況

(2) 緑化

- ①緑化は暗室で過ごした苗を徐々に外界に慣らしていくのが目的です。
- ②苗広げ後の苗は急に直射日光を浴びると緑化しなくなる（白化現象）可能性が有りますので、黒寒冷紗等の被覆資材を被覆して遮光して下さい。

③温度管理は昼温20°C～25°C、夜温は15°C～20°Cが目安です。

（但し、屋外管理は外気温に依存）

- ④草丈が5.0cm程度になるまで被覆します。（目安は5日間程度です。）

POINT！ 本葉1枚目が展開し、第2葉の抽出はじめが目安。

(3) 緑化管理についての注意事項

- ①苗広げ後は手灌水をし、速やかに寒冷紗を被覆して下さい。

POINT！ 直射日光に当てると白化苗発生の原因になります。

- ②寒冷紗が部分的に2重に重ならないように注意して下さい。

POINT！ 生育ムラの原因になります。

- ③水のやり過ぎや過乾燥状態にはしないよう、培土の乾き具合を毎日チェックして下さい。



写真. 黒寒冷紗ベタ掛けの状況

(4) 硬化

①硬化は黒寒冷紗等の被覆資材を除去して徐々に自然環境に順応させるのが目的です。

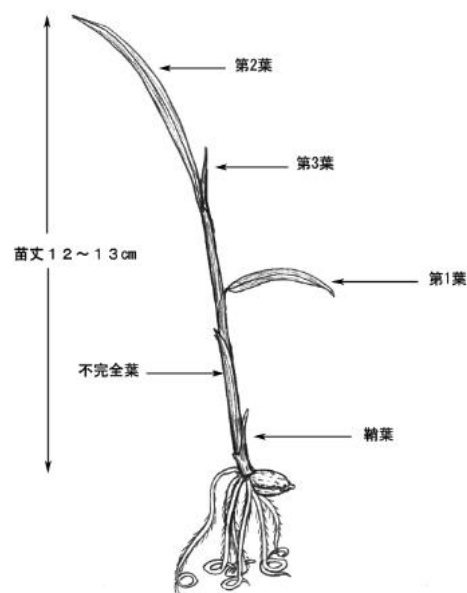
②温度管理は昼温は15°C~20°C、夜温10°C~15°Cが目安です。

(但し屋外管理は外気温に依存)

※高温は、徒長苗を助長させますので注意して下さい。

③理想的な苗姿は次項の通りです。

- ・草丈は12~15cmどまり。(品種による)
- ・第2葉の幅が広く、植え付け直前に葉色が少し落ち、硬い感じになる。
- ・第3葉が2cm程のぞく。(苗令2.1~2.2)
- ・第1葉の高さが1箱全部そろっている。
- ・不完全葉は4cmを超えない。
- ・鞘葉は1cm程度。
- ・根は種子根(1本)と5本の根冠がよく伸び、箱の底に白くて太い根がとぐろを巻いている。根につやがあり、側根がよく発達している。



④硬化期間は12~17日間程、草丈12~15cmが目安です。

⑤灌水は初期には1日1回、育苗後期は1日2回を目途として過湿にならないように

注意して下さい。

POINT! 灌水は気温が上昇し始める午前中に充分灌水して下さい。

※曇天時は極力灌水を抑えて下さい。

(5) 出荷 (田植え)

①普通期の育苗期間は播種から 20～25 日でお荷 (田植え) します。



ご不明な点がございましたらお近くの営農センターにお問い合わせください。

(加治木、始良、蒲生地区) 西部地域営農センター営農課 TEL 65-2041

(溝辺、牧園、横川地区) 中部地域営農センター営農課 TEL 64-9891

(栗野、吉松地区) 北部地域営農センター営農課 TEL 54-1778

(隼人、霧島、国分、福山地区) 東部地域営農センター営農課 TEL 49-8701